# いげたネット活用状況アンケート(2024年)集計結果

実施期間:令和6年2月1日(木)~2月29日(木)

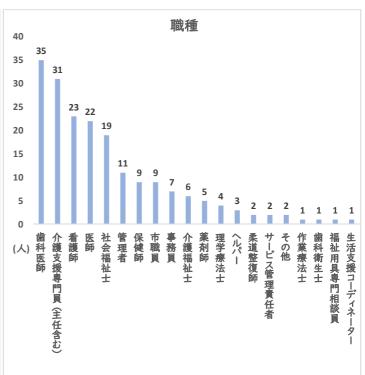
回答者数:194名

## Q1.回答者の背景(所属施設)

#### 所属施設 40 36 35 31 31 30 25 25 20 16 14 15 11 11 10 0 行政施設 病院・クリニック 居宅介護支援事業所 (人)歯科 地域包括支援センター 訪問看護 小規模多機能型居宅介護 (看護含む グループホーム 短期入所生活介護 特定福祉用具販売 訪問リピリ 通所介護 訪問介護 特別養護老人ホーム 介護老人保健施設 調剤薬局 通所リハビリ 貸与

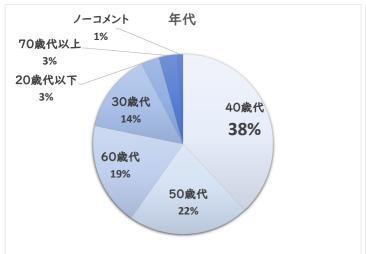
Q1.●「歯科」の回答が多く、次いで「地域包括支援センター」「病院・ クリニック」からの回答が多い。

## Q2.回答者の背景(職種)



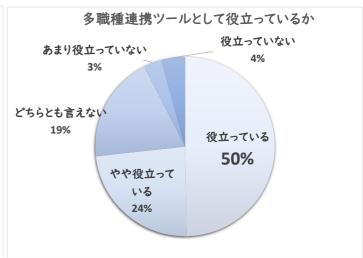
Q2.●「歯科医師」の回答が多く、次いで「介護支援専門員」からの回答が多い。

## Q3.回答者の背景(年代)



Q3.●40歳代の回答が多く、次いで50歳代からの回答が多い。

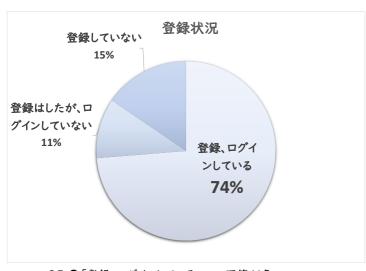
# Q4.いげたネットは専門職の多職種連携ツールとして 役立っているか

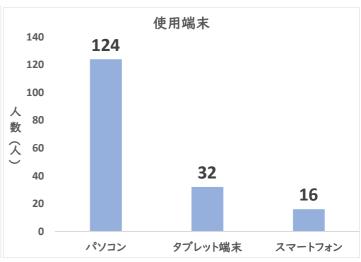


Q4.●「役立っている」への回答が最も多く、次いで「やや役立っている」への回答が多い。

### Q5.いげたネットの登録状況

# Q7. ログインしている端末について





Q5.●「登録、ログインしている」への回答が多い。 回答は少ないが、「登録はしたが、ログインしていない」方がみえる。

Q7.●使用端末は「パソコン」への回答が最も多い。

# Q6.「ログインしていない」「登録していない」の理由

必要性をあまり感じない。(15件)

登録手順が分からない(13件)

FAXが便利(6件)

現時点では、FAXでケアマネジャーさんから情報提供があるので、ログインせずに足りている状況です。(3件)

いげたネットがわからない。知らない。(3件)

在宅医療は行っていないため。(3件)

パソコン等操作方法含め苦手です(3件)

ネット環境が整っていないため、利用していない。

診療所に常にパソコンを置いていない。

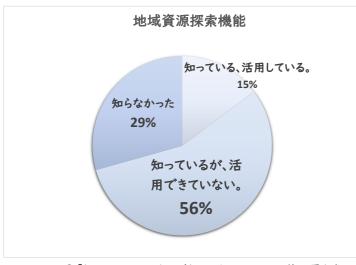
各産業の職種が一気にDX化に対応を求めて来る状況の中で個人が対応するのに限界があり、対応を求められる側のICTやPCへの知識レベルに違いがある事を理解して登録を求めて欲しいと思う。

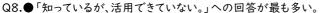
とにかく時間がないから

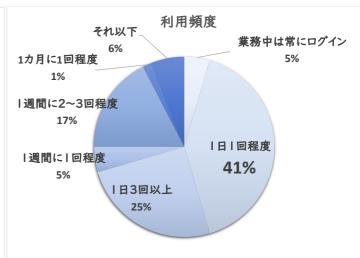
ある時からログイン画面から先に進めなくなったので欲しい情報もあまりないから見なくなった

# Q8. 令和5年4月に追加された 「地域資源検索機能」について

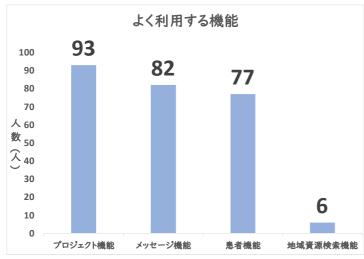
## Q9.いげたネットの利用頻度



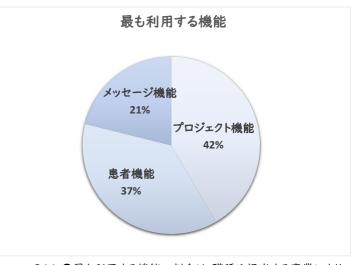




Q9.●「|日|回程度」への回答が最も多く、次いで「|日3回以上」への回答が多かった。|日|回は66%の方がログインしている。



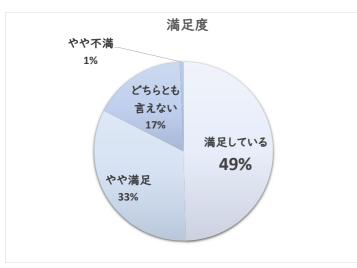
Q10.●3つの画面(患者機能・プロジェクト機能・メッセージ機能) がよく利用されている。



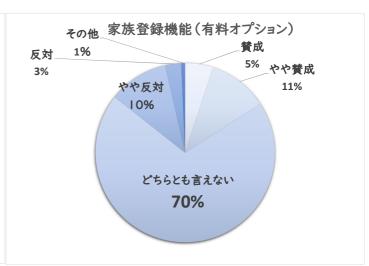
QII.●最も利用する機能の割合は、職種や担当する事業により 分散されている。

### Q12.いげたネットの満足度

### Q15.いげたネットで家族も登録し情報共有する機能



Q12.●「満足している」への回答が最も多く、次いで「やや満足している」への回答が多い。



Q15.●有料オプションについては認知が低く、実際導入をしていないため、結果として、賛否の判断はつきかねる。

### Q13.「満足している」を選択できなかった理由

■ 情報提供で解決できるもの ※青の網掛けは、機能について補足説明をすれば解決できる内容

調べた患者を探せない。

A.患者検索で、患者名が旧字や異体字である場合は、正しく入力する必要があります。またはカタカナ検索をしてください。 患者登録がないか、メンバーに招待されていない可能性もあります。連携するメンバーに問い合わせて招待してもらいましょう。

メンバーに登録されてもどうすればいいかわからない。

A.情報共有が目的で招待されているため、既読のみでも良いです。必要時返信をしてください。既読したら「了解」「読みました」「見たよ」という意味で▲ボタンを押してください。(※その投稿に賛同している意味ではありません)

新規プロジェクトを登録する際に、担当者選択する人数が多いと時間がかかる。より簡単に多くの人数を選択することや選択画面が見 やすくなると良いと思った。

A.職種や施設属性の項目を絞り込んで[この条件で絞り込み]ボタンをクリックすると対象が絞れて選択が容易になります。「個別選択」表示を、[グループ選択]クリックで[グループ選択]表示にして、グループ名の[+]ボタンをクリックして、グループごと担当者を登録する方法もあります。施設管理者であれば、ホーム> 管理メニュー> 施設管理者・サービス運用者向け管理メニュー> グループ管理から「新規登録]をクリックし新たなグループを作成することができます。

|更新のお知らせメールが多く、いげたネット以外の重要なメールを見落としてしまう可能性を考えてしまう。

A.マイプロファイル内の通知の設定:「メール通知のオン/オフ」をオフにしメール通知がこないようにします。 オフに設定したら、大事な連絡を見落とさないために、いげたネットのログインは頻回にしましょう。

ツールとして、使用はしていません。掲示板の機能として使用していますが、必要使用する項目(CM、事業所向け介護保険情報)を チェックして検索できると、有効な情報収集につながると思います。

A.ホーム >プロジェクトをクリック [新規プロジェクトを登録]下部のプロジェクト検索にキーワードを入力し「□文書コメントも検索対象に含める」に図を入れ [検索] ボタンをボタンをクリックすると、絞り込み結果が表示され、絞り込んだ投稿が表示されます。お試しください。

患者/支援対象で、全て確認しているのに「未読」」が消えない

A.未読の状態で、プロジェクトが削除されていると赤数字が残ります。

ホーム >プロジェクトをクリック[新規プロジェクトを登録]横にある[その他]ボタンクリックし[すべてのプロジェクトを既読にする]と未読記事がすべて既読状態になります。

■ iiiへの要望 ※ピンク網掛けは、機能の編集や追加を検討し、必要時サポートセンターに要望する内容

メッセージを書いて送信したが送られずに、作った文章が全て消えた事が何度かある

皆さんの返信が1番上に来ないので、新着メッセージが探しにくい

プロジェクト機能で添付文書が幾つかある時、1つの文書を閉じると元の画面に戻れず、探すのに時間がかかる。

患者情報の記録を印刷したいときに、不要な部分も印刷される。

|印刷に関しては改善していただけると、さらに活用がしやすくなると思う。

メッセージ機能で宛先を一度、登録すると追加できない。

メッセージ機能の宛先が探しにくい。

PDF以外のプレビュー機能をつけてほしい。

地域資源情報の名称での直接検索をできるようにしてほしい。

今でも十分便利ですが、災害時の活用やタグの整理など、機能がブラッシュアップすると良いなぁと思います。

地域資源検索機能に西尾市の補助がでる高齢者配食サービスの事業所も載せて欲しい

それ以外にも、連携先である事業所が検索にかからない時がある

市役所で補助が出るようサービスを検索してどこが対象店舗か出るようにして欲しい

検索で出てきても補助対象じゃないので意味がない場合が多い

(こちらのスペック、使用状況によるとは思いますが)メッセージ到着までに時間がかかる。チャットくらい早いといいなと感じた。 メッセージ等送信時に作成途中経過時間が長いとエラーが出る。(最近ないが、メッセージが消える症状があった) スマホでのログインのテキストが見づらい。

自分の予定にあわせ閲覧・投稿できる

画面イメージが冗長で画面内に表示される情報が少なく無駄なスクロールをたくさんしなくては全体が見られないのが不満 空間を整理してもっとコンパクトに表示できるとよい

各スレッドの区別がつきにくいので折りたたんだときに自分が見たいスレッドが選択しやすいように一覧で見れるようにして、選択した後は詳しい表示が出るようになるとよい

・地域資源の検索がケア倶楽部に比べてやりづらい。

#### ■ 利用者の意識

業務の合間に開いていますが、プロジェクトの情報をきちんと読んでいる時間が取れません。

利用者の情報を確認するだけで精一杯です。

利用者の情報も、メンバー全員が同じように参加してない場合があり、特定のメンバーのやり取りになっている場合がある。 利用者情報も、ケアマネさんによってリストに載せる載せないが分かれる。たくさん載ると面倒くさいのでしょうかと思ってしまう。

行政が用意してくれたのでありがたいが、いろんな施設、事業所がそれぞれ似たような連絡ツールを用意することが多く、同じ内容をい くつものツールに書き込まないといけないのが大変。

いげたネットにどこまでの内容、資料を画像として添付していいのか、不安がある。

十分に使いこなせていないから(9件)

患者機能以外の必要性を見出せていない為

利用するだけの時間が取れない。(2件)

まだ使っている人が少ないと感じる。(30%くらい)

関係者への連絡がしやすくなったから。

電話で代用できてしまう部分が多いので

入力するよりも直接電話した方が早くわかりやすいので

全く満足するというわけではなかったです。

介護業界に入ってもうすぐ I 年なので、まだまだ知らないことも多いですが…小さい事でもいげたネットで色々と投稿したり、CMへの連絡を行えば記録も残り、他者が見ても分かりやすいのに電話でのやりとりが多いのが不思議です。勿論、請求関係は電話連絡で良いかと思いますが状況報告はいげたネットの方が良いのではないでしょうか?

まだ物申せる立場ではないので・・・私の事業所はいげたネットの使い方が現状このような感じです。

もっと活用できるはずなので、やや満足という選択になりました。

訪問介護員が高齢の為管理者が利用者の必要情報を確認して連絡している。スマートフォンは年配の方は操作が困難です。 重要なことは電話、FAXがベストと思います。

使いにくさがある(2件)

使用方法がいまいち分かり難い。

ペーパーレス化がイマイチ

利用に不慣れな為、どうやって必要な情報を得るのかが分らないので、聞く機会が少ない状況(2件)

一覧が分かりにくく感じます。

殆ど使用していないので、評価出来ない。

利用の必要がなく、利用頻度が低いため。

あまり役に立っていない。

### ■ 多職種連携(先方の意識)

他市の医師、事業所との連携が、やりにくい。

参加者の選択が難しい。

いげたネットを活用した多職種と連携する機会が少ない。

支援チームの中で活用している事業所と導入していない事業所が混在しているため、これからに期待している。特に医療機関にはもっと活用して頂きたいが、医療機関には別の連携システムがあると思うと、複数のツールを使うのは非効率なのかもしれない。

事業所間のやり取りは、電話やFAX、対面で行なうことがほとんどであり、いげたネットを利用することはほとんどない。

### ■ 事業所の設備の問題

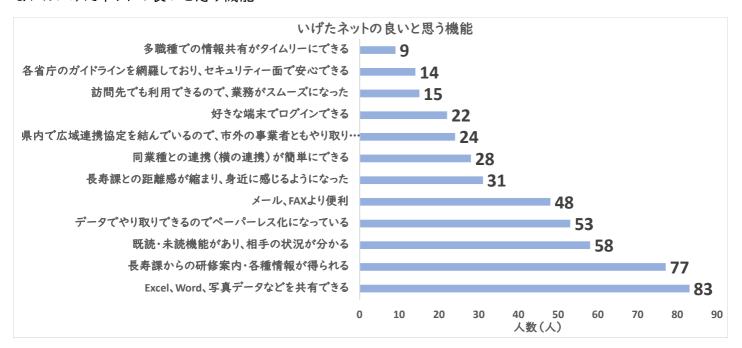
端末が制限あるためやや面倒

タブレットにて活用させて頂いていますが、開くことが面倒であったり、みんなで1台しかないのでなかなかすっと開いて活用することができません。しかし患者様の情報共有には役立っています。写真など。とはいえ、登録されている患者数が少なくもう少しケアマネも積極的になっていただけるといいなあと思います。

情報共有がしやすいのでありがたい。

事業所の代表者のみがアカウントを持っているところは、連絡を取りたい人にすぐ繋がれないのでタイムリーさに欠ける。

### Q14.いげたネットの良いと思う機能



Q14.●「Excel、Word、写真データなどを共有できる」への回答が最も多く、次いで「長寿課からの研修案内・各種情報が得られる」、「既読・未読機能があり、相手の状況が分かる」、「データでやり取りできるのでペーパーレス化になっている」、「メール、FAXより便利」への回答が多い。

## Q16.いげたネット(全般)についての改善や要望、不満なところ

### ■ 情報提供で解決できるもの ※青の網掛けは、機能について補足説明をすれば解決できる内容

地域資源に近所で行っている地域の体操教室やその要項など入れてくれると助かります。

A.社会資源は生活支援コーディネーターと情報を共有して、最新情報の入力を依頼します。

投稿通知のメールがいちいち2通届く。

A.マイプロファイル内の通知の設定:「通知用メールアドレスの追加(2つ追加可能)」にメール送信確認のメールを2重登録している可能性があります。確認し通知用アドレスから削除してください。

一度支援が終了し、いげたネット上でも、支援終了で消してしまった方が、何らかの理由で再度支援することになった場合、消したものを復活させれると、再登録の手間が減ると思う。

A.ホーム >患者/支援対象をクリック[新規患者/支援対象を登録]下部にある[絞り込み]ボタンクリックし[支援中止のみを表示]と 絞り込み条件を設定すると絞り込み条件で絞り込んだ患者が患者リストに表示されます。対処の患者をクリックすることで、再開すること が出来ます。

PCを起動させてすぐに、自分宛ての通知があることが確認できたら便利だと思います。

A.マイプロファイル内の通知の設定:「メール通知のオン/オフ」をオンになっていることを確認してください。複数のスタッフで、一つの端末を使用している場合は、同じID/パスワードでの画面は共有せず、施設管理者が利用者の追加を行うことで、一つの端末で各々の ID/パスワードから入る事で、自分宛ての通知が容易に確認できます。

## ■ iijへの要望 ※ピンク網掛けは、機能の編集や追加を検討し、必要時サポートセンターに要望する内容

メッセージ機能等を利用するとき、一度既読にしてしまうと、未読に戻せない。未読に戻せる機能がほしい。

プロジェクトの対象者に市単位で選択されていると、抜けたくても抜けれない

プロジェクトの投稿を編集して、再周知したいが、最新の投稿記事の場所に移動しないこと。

メッセージ機能で1回メンバー登録してしまうと、人の追加や人を抜くことができないので追加したり抜いたりができると便利だと思いました。

メッセージの転送機能がほしい。表示をチャット形式にしてほしい。

プロジェクト機能で添付文書が幾つかある時、1つの文書を閉じても、前の画面に戻れるようにして欲しい。

|地域資源の検索がしやすいように考案してもらいたい。

細かなところですが…添付ファイルを閲覧後、戻るボタンで戻ると全体のところまで戻ってしまう。

使い方の問題なのかもしれませんが、パソコンで使用時に画面のスクロールがしにくいです。

### ■ 利用者の意識

患者機能でご家族も一緒に共有だと情報によっては配慮が必要になったり、トラブルが起きないか心配です。

一方でいげたネットを活用する事でご家族と連絡が取れるような仕組みがあると(例えば夜間や休日に急ぎではない連絡とか)、お互いにできると支援の幅は広がるのかなぁと思います。

担当者の中から、誰に向けた投稿なのか選択できるようになるといいのかなと思います。(全員周知ならその選択項目もあるといい) ヘルパー目線ですが、サ責が居宅に電話かけ、お世話になります〇〇さんいますか?といって居なかった場合の時間がもったいなかったり、電話のために時間を合わせるのが大変そうに感じています。

その点で、いげたネットならいつでも投稿でき、サ責→CMへの状況報告もやりやすいかと思います。

訪看→ヘルパー、デイ→ヘルパー等もやりとりしやすく記録も残り、そのやりとりをCMも確認できるならもっといいのかなと思います。 いまは全員に向けた形で投稿されることが多く、投稿するのに少し億劫な部分があるのかなと感じます。

もっと気軽に投稿できるツールとして活用できた方がいいのになと思っています。

地域資源の情報がもっと充実し、市民の皆さんが活用しやすくなるといいと思います。

定期的に活用方法の講習会があるとよいと思います。(2件)

西尾市やその他の情報を得るにはとても良いと思います。

研修、勉強会、そういった内容を充実してほしいです。

「いげたネット」で色々と情報を発信していただけるので、県の高齢福祉課のHPを確認する機会が減っています。

もしも長寿課担当者さんが載せ忘れたらと思うと怖くなります。今後とも宜しくお願い申し上げます。

情報の選択は自分で行ってください、と言わんばかりの情報量がいいのか悪いのか

タグ付けしていない場合、過去のメッセージを探すのが大変。

いげたネットに限らず、社会全般が一気にDX化を果たそうとして、逆に現場の最前線を置いてきぼりにしていると感じる。他にもDX化に 適応を求めて来ている事を理解してほしい。個人のキャパに限界はある。

情報が多すぎて重要さの度合いがわからず、重要なメッセージを拝読するのが遅れることが多々あり反省しています。

まだそこに至るまで使いこなせていない現状です。

タイムリーに利用するだけの時間がなく、すみません。

メール、FAXの方が使い易い。

電話やメールで代用できてしまっているので

長寿課からの研修案内・各種情報が得られる以外はあまり活用していないのが現状です。

在宅医療に携わていないので、利用価値がほぼ無い

自分に関係ないメールがたくさん来すぎる。

利便性がよくわかりません

長寿課とのやりとりは便利です。

個人の感想ですが、利用者の陰部等の状態確認の為の写真添付は嫌な利用者さんもいたので考えるところがあると思います。 褥瘡等確認し情報共有できるのは便利ですが誰に聞いても自分だったら嫌だと思います。

相談されると地域包括支援センターのケアマネジャーを紹介している。

さらにより多くの多職種、専門職の方が活用してくれるとよいなぁと思っています

とても使いやすく便利であり、ご利用者様の為にもなっているツールだと思います

今後、ますます活用していきたいです

無料でここまでの機能を使わせていただければ充分だと思います。

自分自身がもっと学ばないといけないと感じています。

利用者の情報交換がリアルタイムにできとても便利なツールである。

多忙な時でも空いた時間に確認できるのがよいです

とても助かっています。これからもよろしくお願いします。

現在、担当する利用者がいないため、患者機能の活用ができていません。

今後、必要に応じて、患者機能、地域資源検索機能など、十分に活用できるようにしていきたいと思います。

### ■ 多職種連携(先方の意識)

ケアマネさんによっては利用しない方もあり、何だか、歯がゆい時があります。まだ皆さんに浸透してないんでしょうか。

事業所によってタイムリーに見てくれる所と登録されているが未読のままの事業所がある。未読のままだと電話をかけて連絡しなければならず二度手間になる。

使っている人と使ってない人の差が大きいと思う

個人的にはいげたネットのメッセージのが記録に残るし、時間も気にしなくて良いし、内容も間違いなく伝わるので活用していきたいが、なかなか見てくれないと電話した方が良いのか悩む事がある

### ■ 事業所の設備の問題

|人に|台のパソコン等での仕事をしている事業所はいいが、|台のパソコンを複数人で使用している事業所との連携は、電話やFaxになってしまう。各事業所により、パソコン環境が違うところが不満に思う。

## Q17.その他、在宅医療介護連携支援センターへのご意見など

|いつもお世話になっております。医療と介護で交流できるような機会(勉強会など)があったら、ありがたいなと思います。

初めは利用していましたが、当方に不要なメールが多く、利用を止めました。

なんのセンターなのか、自分にとってなんの役に立つのか、知らない。

使い方がいまいち分かりにくい。

まだまだ分からないことだらけなので、まずは登録しようと思います。

いげたネットは利用してないので良く解りません。登録の方法、利用の仕方をもう一度教えてもらえると助かります。

よく活用させていただいています。

電話、Fax、メールに次ぐコミュニケーションツールだと思っています。

投稿があった時に、メールが来る機能も、大変重宝しています。

ケアプラン連携システムより、こっちの方が活用しやすいと考えています。

いつも情報をありがとうございます。

とても助かっています。これからもよろしくお願いします。(9件)

以前に比し、行政、専門職間の距離が縮まり、業務がし易くなったと思います

とても嬉しく感謝しております

一応毎日拝見するよう心がけています。

もっと他分野へも広がり、西尾市民全体で使えるようになると便利で面白いと思います。

|少しずつですが定着していると思いますので、これからも色々とチャレンジして下さい。

これからも楽しく連携の輪を広げていって頂きたいです。期待しています。

他の事業所と連携ができるところは素晴らしいと感じます。

皆さん、意識が高くて見習わないとと感じています。

|他市の専門職ともメッセージ機能を利用し活用しています。

アンケートサクサクできました。とても使用しやすかったです!

また、有益な情報いつもありがとうございます。今後もよろしくお願いします。

いつもお世話になっております。いげたネット、もっと広く活用していきたいです。

事業所内でいげたネット使っている人全員にアンケート回答してもらっています。改善楽しみにしています。

よろしくお願い致します。

### 調査結果のまとめ

- ■多職種連携ツールとして役立っている(やや役立っている含む)74%。 登録が出来れば連携につながり、利便性を実感できると考えられる。
- ■いげたネットに登録ログインしている方は74%。

登録はしたがログインしていない方11%は、登録していないのではなく利用できないでいるため、ログイン状況をチェックして、早期にフォローしていく。

登録していない方は15%。登録していない理由としては、ネット環境や端末がないといった物理的理由というより、PCへの苦手意識がありFAXに依存している傾向にある。登録の仕方がわからないとの声もあり、対象に応じて初回設定を支援していく。

■いげたネットの利用頻度は「1日1回程度」が41%、1日3回以上の25%を合わせると、1日1回は66%の方がログインし、タイムリーに情報を共有して利活用出来ていることがわかる。

■満足度については満足している(やや満足しているを含む)82%

「満足している」を選択できなかった理由やいげたネットへの改善や要望の不満の記述からわかるように、満足が得られない要因は、大きく、端末の制限(環境・状況の問題)・使いこなせていない、相手が登録していない(本人の特性・相手の問題)・機能についての要望やニーズがある(システムの問題)にある。

使いこなせていない方には機能についての説明や利活用の方法を紹介していき、機能の改善に向けては業者に要望を出し改善を求め、ニーズに応えていくことで、満足度は高まると考えられる。

■今後の課題は、これから活用する方(在宅診療をしていない、利用するメリットがない、必要性を感じて頂けていない方)には、いげたネットの周知を図り、満足度の低い方に向けて、いげたネットの回答の特に多かった機能(①Excel、Word、写真データなどを共有できる、②長寿課からの研修案内・各種情報が得られる、③既読・未読機能があり、相手の状況が分かる等)を伝え、活用の幅が広がるように支援していくことと、引き続き利用者のニーズの把握に努めていくこと。